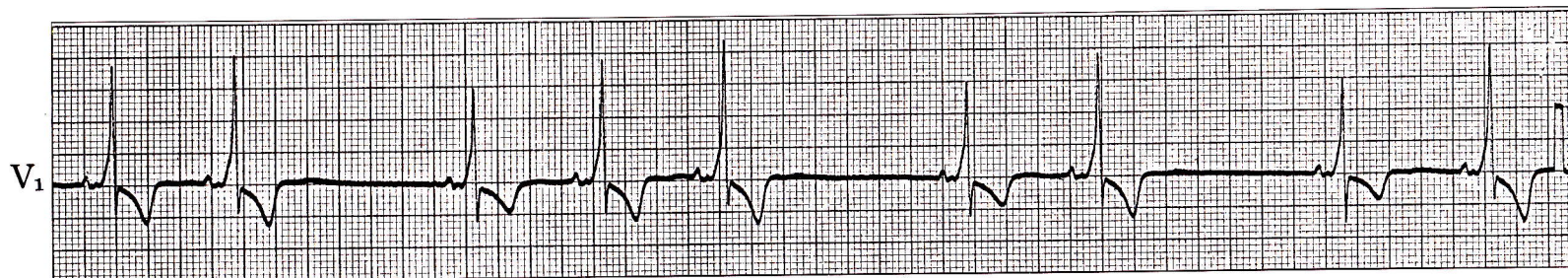


症例 51

●44歳 男

人間ドックで心電図異常を指摘され、精査のため来院。自覚的には脈の不整に気付いていない。



1) このリズムは何か。

心電図診断

洞房ブロック(WPW症候群)

基本は洞調律でP波とQRS波は1対1に対応している。

RR間隔が長い部分は基本調律のRR間隔の2倍。

PQ時間0.11秒、QRS幅0.12秒、QRS波の立ちあがりかゆるやか(デルタ波)。

→WPW症候群。

解説

洞房ブロックはP波、QRS波ともに脱落するため、RR間隔が基本調律のRR間隔の整数倍になる。正常でも迷走神経の緊張により出現し、病的には心筋炎、急性心筋梗塞、ジギタリスやキニジンの中毒などでみられ、**sick sinus syndrome**（症例10参照）の一症候でもある。

一般に洞房ブロックは治療の対象にはならないが、心拍数が少なく、**Adams-Stokes**発作(失神発作)を呈するものはアトロピン、イソプロテレノールの投与やペースメーカー植込みの対象となる。